

転倒（子ども）編

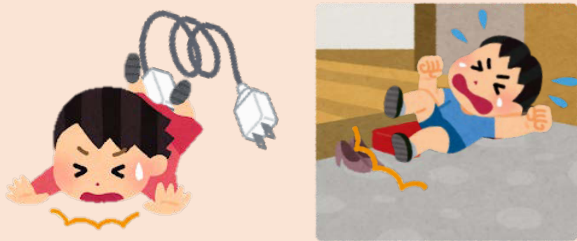
「一般負傷」によるケガのうち、子ども（0歳から6歳）の占める割合は1～2割となっています。そのうち、約3分の1が『転倒』によるケガで救急搬送されており、保護者のちょっとした注意で防げる事故が多く見受けられます。

また、発生場所別にみると、自宅での発生が約8割を占めており、安全なはずの自宅にも危険はたくさん潜んでいます。

原因

『つまづく』

段差、電気製品のコード類、ベッド周辺



『滑る』

フローリング、新聞やチラシ等の滑りやすい物、濡れた床や浴室、タオルケットや毛布



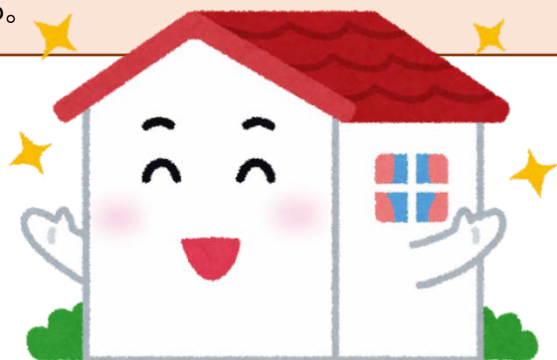
予防のポイント

★整理整頓！

部屋の整理整頓を心がけましょう。

★滑らない、転ばない対策を！

- 踏むと滑りやすいもの（新聞やチラシなど）は床に置かないようにする。
- ヨチヨチ歩きで転倒することもあるので、家具の配置に注意するとともに、段差をなくす。
- 靴下やスリッパは、滑りにくいものを履く。（子どもは裸足でもいいかもしれません。）
- 転倒すると大事故につながるので、子どもに物をくわえたまま歩かせないようにする。



家の中を見渡してください。転倒の原因となる危険がありませんか！？

今一度、家の中の危険箇所を子どもの目線で確認してください！！